

五日市

阿伎留神社例大祭

平成28年

9/28(水)・29(木)・30(金)



神輿の動き・見どころ

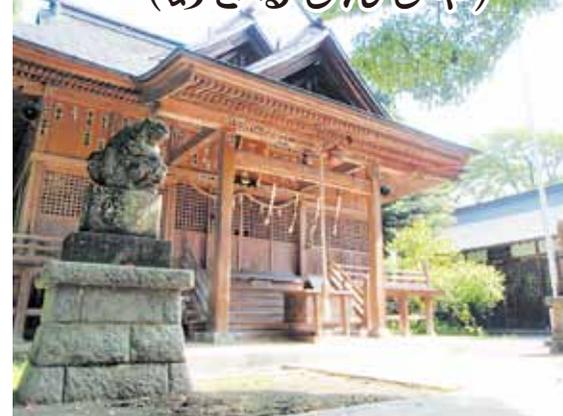
28日(水) 神社では昼間に例大祭神事を行います。午後4時に五日市入野獅子を迎えて、神輿は午後5時30分に宮出し致します。
獅子迎えと宮出し 松原横丁(神社から檜原街道の道)を通り、午後6時に五日市出張所信号から檜原街道に出て町内を1往復した後、午後8時30分までにお仮屋に到着します。
中神輿10周年記念行事 今年は中学生神輿を新調して10周年の記念行事として、近隣の多くの囃子連が加わりお祭りを盛り上げてくれます。

29日(木) 昼間の渡御は正午にお仮屋を出発します。氏子廻りは二点棒で担ぎます。担当棒は休憩点で順番に変わります。
氏子廻りと夜の渡御(お仮屋出発2回) 夜店 午後4時にお仮屋に到着して休憩になります。
 夜の渡御は、午後6時10分にお仮屋を出発します。檜原街道を2往復し午後9時にお仮屋に到着します。

30日(金) 最終日は昼間の渡御はありません。午後6時10分にお仮屋を出発し休憩せずに町内を2往復します。午後9時15分までに松原横丁に入ります。
夜の渡御のみ 夜店 お仮屋からの出発と、五日市出張所信号から松原横丁に入る宮入りが見所となります。

中神輿 中学生のみが責任者を決めて専用の神輿「中神輿」を担ぎます。元気な中学生の躍動をご覧ください。中神輿は28日29日30日とも夜のみの渡御となり大神輿(神社神輿)に続いて巡行致します。

阿伎留神社 (あきるじんじや)



■ 神社について

えんぎしき 延喜式(延喜五年・西暦905年藤原時平等が勅をうけ編集された律令の施行細則) 卷九の神名帳に武蔵国多摩郡(現在の世田谷区から西)八社の筆頭に記載されている国社です。
みことり

■ 御祭神(お祭りしてある神様の名前)

- 大物主神(おおものぬしのかみ)
- 味耜高彦根神(あじすきたかひこねのかみ)
- 建夷鳥神(たけひなとりかみ)
- 天児屋根命(あめのこやねのみこと)

■ 五日市入野「獅子舞」

阿伎留神社例大祭に五日市入野「獅子舞」は、神輿渡御の安全・無事と氏子の繁栄を祈願して舞います。



◇起源

この獅子舞の起源は定かではありませんが、現在ある獅子頭・太鼓(三代目)には、獅子頭の塗り替え・太鼓の張替のことが書いてあり、その時期が250~280年位前と推測されます。別に保存されている獅子頭がかなり使い古されていることから併せて推測し、400年前(江戸時代初期頃)に始まったと思われます。

◆演目・役割りなど

庭数(演目)は「藤掛り」「棒掛り」「太刀掛り」等九庭ありそれぞれの「うたい」に併せて舞います。獅子は、一人立ちの三匹獅子(太夫・女獅子・男獅子)で額から下がり藤の水引きをたらしませます。花笠は、太陽(日)・月・牡丹(二)の四張りで、竹の「ささら」を摺り鳴らします。

獅子舞の日程・場所	日 時	行 事	場 所	裏面案内図
9/28(水)	午後 3時30分頃	奉納獅子舞・獅子迎え	開光院(五日市入野)	★1
	午後 5時頃	宮出し前	阿伎留神社	★2
9/29(木)	午前 11時30分頃	奉納獅子舞	お仮屋(下町)	★3
	午後 12時30分頃	奉納獅子舞	小沢屋前(栄町)	★4
	午後 1時30分頃	奉納獅子舞	十一屋前(東町)	★5
9/30(金)	午後 2時頃	御礼獅子舞	上町神酒所	★6
	午後 3時頃	入野獅子舞(雨天中止)	五日市入野ゲートボール場	★7
	午後 6時15分頃	奉納獅子舞「太刀掛り」	阿伎留神社	★8

■ もう1つの見どころ 「お囃子」

阿伎留神社例大祭のもう一つの見どころは、お囃子です。町内の栄町・上町・下町には各町内囃子連が、東町には小和田囃子連が、仲町には留原囃子連が祭礼に華を添えています。演奏時間と山車の運行は、各町内によって異なりますが、神輿の巡行に合わせて運行します。小学生・中学生のお囃子演奏、かわいい踊りがご覧頂けます。

裏面に獅子舞の場所★1~8と交通規制図があります。



ドローン飛行・撮影 禁止



自撮り棒利用・撮影 禁止

- 航空法に基づき、無人飛行機(ドローン等)の飛行は禁止です。
- 自撮り棒の使用は危険ですので止めてください。
- 不審なものを見かけた際は、すみやかに110番してください。